B3 クラス（小 3）の発表「ちがうふたり」では、雰囲気が一変。M-1 グランプリでお馴染みの出囃子が鳴り響くと、男子二人による『みんなちがって みんないい』をネタにした「漫才」がスタートしました。ステージ上で淡々としゃべくりを展開し、次々と爆笑を誘うその姿は、まるでプロの漫才師のよう。いつの間にか会場全体が引き込まれていました。

そして B コース発表会の最後は B4・B5・B6 クラスによる合同発表「つなごう、東北の心～祭りがつなぐ笑顔と未来～」です。嵐の「ふるさと」の優しい歌声から始まり、東北の豊かな文化や祭りについて劇やクイズを交えて分かりやすく熱意を込めて伝えました。発表のフィニッシュを飾ったのは全員での「花笠音頭」です。3 学年の息の合ったキレのある見事な踊りは素晴らしく、高学年らしい力強さで会場全体を感動の渦に巻き込みました。

翌日の 25 日（金）に行われた A コース発表会の舞台の幕を開けたのは、A2 クラスによるスイミーの創作劇「みんないっしょにおよぐんだ！」です。子供たちは自分の役割をしっかりと果たし、全てのセリフをほぼ完璧に覚えて堂々と演じきりました。劇の締めくくりとなる最後の歌では、フルコーラスの美しい歌声が会場いっぱいに響き渡り、観客の心に深く残る素晴らしいオープニングとなりました。

続いて登場した A1 クラスは、「おおきなかぶ」を元気いっぱいに演じました。物語には青柳先生の手作りの帽子をかぶった多彩な動物たちが次々と登場し、舞台を賑やかに盛り上げます。さらに、B コースの発表会に続き、再び加納校長先生扮する「親分ゴリラ」も登場し、会場からは大きな歓声と笑い声が沸き起こる、ユーモアあふれる楽しい発表となりました。

A3 クラスの「みんなちがってみんないい」では、金子みすゞの詩をテーマにしたオリジナルの脚本に挑戦しました。子供たち一人ひとりの個性が光る構成となっており、それぞれの良さを認め合う大切さがストレートに伝わってくる、非常に完成度の高い見事な発表でした。

最後にプログラムを締めくくったのは、A4・A5・A6 クラスによる合同発表「沖縄の歴史から学ぶ～命と平和を大切にする心～」です。「島人ぬ宝」の瑞々しい合唱から始まり、各学年が沖縄の歴史や平和への願いについて真剣に発表しました。そしてフィニッシュを飾ったのは、エイサー「ダイナミック琉球」です。しなやかさと力強さ、そして魂が揺さぶられるような一糸乱れぬ踊りは、多くの観客の胸を打ち、会場全体が割れんばかりの拍手と深い感動に包まれました。さらに歌やエイサーでは、沖縄出身の児童による美しい「三線」の音色がステージに華を添えました。そして、最後には補習校学習発表会で初めてアンコールが起こり、それに応えて 2 回目のエイサーが披露されました。

今回より学習発表会は前期の終わりの開催となりましたがその影響を感じることはなく、この発表会で子供たちはまた一回り大きく成長した姿を見せてくれました。温かいご声援をいただいた保護者の皆様、本当にありがとうございました。（山口）






















【緊急事態に備えて】

10月の後期授業開始の日、各コース共に安全教室として地震の避難訓練を行いました。地震発生の放送の合図で全員机の下に入り、地震がおさまってから素早くフィールドに避難するという練習です。避難訓練後の安全教室では、避難の際にこころがけておきたい標語 「お菓子も好き 」 について復習しました。

「お菓子も好き（お・か・し・も・す・き）」

お ・・・押さない
か ・・・駆けない
し ・・・しゃべらない
も ・・・戻らない
す ・・・素早く動く
き ・・・よく聞く

